

行政評価シート（事務事業評価）			評価年度	4年度
事業名	健康ポイント事業	担当課	健康づくり課	
事業内容(簡潔に)	健康づくりの実践者にポイントを付与し記念品を贈呈して健康づくり意識を高める。			

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	誰もが安心して暮らせるまちづくり		
	政策	健康な暮らしを守る保健・医療の充実		
	施策	健康づくりの推進		
関連する個別計画等	第3次韮崎市健康増進計画	根拠条例等	健康増進法	

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	健康づくりの実践者を増やすことで、早期の病気の予防や改善ができ、将来的には医療費の減少や健康寿命の延伸につながる。
事業の手段	参加希望者は、ポイント手帳、またはLINEショッピングカードを利用し開始する。対象メニュー（健康診断・ウォーキングイベント・スポーツ施設への参加や個人の取り組み等）を実践し、ポイントが20ポイント貯まった参加者に記念品（1000円分クオカード）を贈呈する。
事業の対象	年度末年齢19歳以上の韮崎市民

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		元年度	2年度	3年度
A	事業費 (千円)	663	609	647
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)	0		
	一般財源	663	609	647
B	担当職員数(職員E) (人)	0.10	0.11	0.11
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	672	723	724
D	総事業費(A+C) (千円)	1,305	1,332	1,371
主な事業費用の説明	健康ポイント手帳作成(印刷製本)費、記念品(クオカード)代			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)、3年度(6,582千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
活動指標	1 ポイント手帳配布数	手帳配布数	8,941	6,147	6,664
	2 対象メニュー数		14	14	15
	3 LINE参加者(H30から)	LINE参加者	160	352	388
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	ホームページ・広報・健康カレンダー等への掲載、総合健診や乳幼児健診での配布、ポスターや手帳を各町公民館・市内歯科医院・民間スポーツ施設などへ配布している。事業PRや参加者の口コミなどから事業の普及がみられている。			
	2	若い世代も参加しやすいよう、子育て支援センターイベントへのポイント付与を継続中。令和3年度からはSDGsイベントである海ごみゼロウォークにおいても特別ポイントを付与し、事業を始めるきっかけづくりとしている。			
	3	韮崎市保健福祉センターのLINE登録者に、月に一度健康ポイント対象イベントの周知を行っている。若い世代に対するPRを継続しており、LINE登録者の増加につながっている。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			元年度	2年度	3年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	ポイント達成者	241	189	217
	2	健康づくり(運動等)の習慣化	58.3% (127/218)	71.6% (121/169)	65.4% (140/214)
	3	健康に関する関心度	34.4% (75/218)	39.1% (66/169)	45.8% (98/214)
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	コロナ禍により中止となるイベントが多い中でも、個人の取り組み(運動や血圧測定など)を継続しポイントを達成する方は維持することができた。			
	2	経年データをみても、半数以上を上回る方が事業を通して健康づくりの習慣化ができたとの反応がみられている。			
	3	健康に関する関心度は年々増加傾向にあり、事業を通し自身の健康について意識する方が増えていることがうかがえる。			

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)				
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)				
	令和4年度の改善計画(今後の事業展開説明) LINEの登録者数は増加傾向であるため、健康情報の内容の見直しを実施しより魅力的で若男女が興味を持つ内容を検討していく(管理栄養士監修の健康レシピなど)。 達成者アンケートより、達成者の属性は60代女性が多いため、若い世代の参加者の獲得を強化していく。乳幼児健診時に、ポイントが付与された手帳を配布する、支援センターイベント時にポイントのPRを実施。令和3年度から開始された、海ごみゼロウォーキングは子育て世代の参加者が多いため、令和4年度も同イベント時に健康ポイント事業についても周知していく。 現在、ポイント手帳を活用しポイントを取得している方が95%以上を占める。今後の事業の方向性については、ワーキンググループなど、幅広い視点で事業の見直しを話し合える場を設け、LINEのショップカードを利用しポイントを貯める方法への統一等を含め、検討していく。				
改善の経過	令和3年度より、事前登録者への景品をニーラの描かれているオリジナルマグカップへ変更し市のPRを兼ねる形とした。100名の事前登録者からも、好評を得ることができた。 平成30年より開始したLINEの登録者数は年々増加傾向にある。若い世代になじみのあるLINEを利用することで、若い世代の参加者獲得の目標を継続している。				
直近の評価結果	内部評価	2年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
	評価時の改善案	事業参加方法を拡大 ① 従来のポイント手帳を利用したの参加 ② LINEから参加 LINEアプリを登録。登録者にはプッシュ通知を利用し、健康情報や対象イベントを一括配信する。イベント会場でQRコードを読み込みポイントを獲得。20ポイント達成者には記念品を贈呈する。			
	外部評価	2年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
	評価時の対応	より魅力ある事業となるよう、事前登録者への景品をニーラが描かれているマグカップへ変更し市のPRも兼ねる形としていく。また、対象メニューについても、ポイント達成者の意見を参考にしながらさらに検討を行っていく。			
課長所見	アンケート結果からも健康への関心が高まっており、健康づくりへの更なる意識向上を図っていく。				